

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
日本経済論	瀬野 陸見	講義	2		2	1	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	日本経済を取り巻く状況は極めて多様な要素が絡み合い、そして移り変わっていつている。日本国内だけでも多様な制度・アクターが絡む上、日本国内だけで経済は完結しておらず、世界との関係も無関係ではいられない。この授業では日本経済に関するできる限り多様な素材を取り上げ、歴史的な流れも踏まえながら、多様な側面からの分析を試みる。そのことによって、複雑な日本経済の姿を少しでも具体的に捉えることができるようになることを目指す。						
到達目標	①日本経済についての基礎知識を得る。 ②日本経済についての経済学的な分析枠組みを身につける。 ③得た知識と分析枠組みを用いて、日本経済について自らの考えを述べられるようになる。						
回	学習内容						
1	ガイダンス：日本経済をどう捉えるか						
2	世界経済はどこで歪んだのか：「両極化」する世界に生きる						
3	日本経済の歩み：日本型経済システムの成立と解体						
4	平成の「失われた 30 年」と日本経済の構造変化						
5	キャッシュレス経済の現状と課題						
6	グローバル化は国民を豊かにするのか：変質する自由貿易の理念と通商政策						
7	劣化する労働環境と「働き方改革」						
8	ベーシック・インカムは社会保障の核となり得るか：現金給付の意義とは						
9	国民皆保険制度は本当に持続的か：制度危機の処方箋の検討						
10	農山村の内発的発展と財政：林業・木材産業をケースに						
11	経済成長・格差・少子高齢化						
12	民間非営利組織の営利化、営利組織の非営利化：NPO、社会的企業、CSR、ESG 投資のゆくえ						
13	情報化、IoT 時代がもたらす未来社会の「姿」						
14	企業中心社会を超えて						
15	試験、および授業のまとめ：日本経済はどこへいくのか						
予習内容 復習内容	予習：教科書の該当箇所を読み、不明点を確認しておく。 復習：授業資料やノートを読み返し、授業内容の要点を述べられるようにしておく。						
教科書	小山大介・森本壮亮編著『変容する日本経済（仮）』鉾脈社 *授業までに出版予定						
成績評価	毎回のリアクションペーパー10%、小テスト（計3回）30%、試験 60%						
実務経験							
その他 特記事項	リアクションペーパーのやり取りはスマホ・PC で書き込むシステムを使用。 詳細は初回の授業にて指示する。 日頃から幅広い経済現象に関心を持ち、授業へ積極的に参加すること。						